

【家庭教育支援チーム】

(1)活動主体(チーム)について

①チーム名 (呼称)	下関市家庭教育支援チーム (呼称: 彦島中学校区家庭教育支援チーム「ひこしま」)
②活動拠点	下関市立彦島中学校、下関市立江浦小学校、下関市立角倉小学校 下関市立向井小学校
③活動範囲	同上(彦島中校区)
④組織体制	<u>25</u> 人 各校PTA会長ほか役員2名~3名、彦島中学校PTA会長ほか役員2名、同OB2名、同おやじの会会長、彦島中学校学校運営協議会委員2名、各学校長(顧問)、学識経験者 1 名(顧問)、彦島中校区民生児童委員協議会、下関市スクールソーシャルワーカー
⑤活動開始年度	<u>平成 30 年度</u>
⑥問合せ先	(部署・氏名等)下関市教育委員会教育部生涯学習課 (TEL)083-231-7968 (E-mail)kishogai@city.shimonoseki.yamaguchi.jp

(2)活動内容について

①活動形態 (複数チェック可能)	<input checked="" type="checkbox"/> 保護者等への学びの場の提供 <input checked="" type="checkbox"/> 保護者等への地域の居場所づくり <input type="checkbox"/> アウトリーチ型家庭教育支援(※保護者の居場所に出向いて届ける支援) <input type="checkbox"/> 自宅に届ける支援(情報提供、相談対応等) <input type="checkbox"/> 保育所・幼稚園・学校等に届ける支援(情報提供、相談対応等) <input type="checkbox"/> その他の保護者に届ける支援(情報提供、相談対応等) <input type="checkbox"/> その他()
②活動対象 (複数チェック可能)	<input checked="" type="checkbox"/> 乳幼児 <input checked="" type="checkbox"/> 小学生(低学年) <input checked="" type="checkbox"/> 小学生(中学年) <input checked="" type="checkbox"/> 小学生(高学年) <input checked="" type="checkbox"/> 中学生 <input type="checkbox"/> 高校生以上 の子供を持つ保護者に対する活動を実施

<p>③活動内容</p>	<p>【具体的な活動内容】</p> <p>【座談会の開催】</p> <p>保護者の子育てに関するアイデアを得るために、1つのテーマを決め数班に分かれて熟議をしている。4校の保護者同士のつながりを深め家庭教育の充実を図るために、学期毎に開催している。</p> <p>【就学前検診時における子育てサロン】</p> <p>小学校入学前の保護者の不安解消のため、就学前検診時にサロンを開催している。子供の家庭生活や学習、PTAの活動のことなどの質問があり、先輩保護者が回答することで、保護者としての心構えが共有されるとともに、保護者同士のつながりも深められている。</p> <p>【出前講座】</p> <p>家庭教育について、幼稚園や小学校で講師を招き講座を開催している。家庭教育向上のための勉強会のひとつとして、地域全体の子育て事業として取り組んでいる。</p> <p>【その他】</p> <p>家庭教育支援冊子を作成し、各子育て世帯に配付。子育てに関する情報や子供たちに役に立つ進路情報など掲載している。</p> <p>中学生の地域ボランティアの引率を行い、郷土愛の育成をめざすとともに、地域から認知される組織として活動している。</p>
---------------------	---

<p>④活動の成果 (活動実績がある場合)</p>	<p>保護者同士の縦と横のつながりづくりの成果を評価する目的で子育てサロンの参加者約 100 名にアンケートを実施した。</p> <p>アンケート結果 「交流ができて良かった」と回答(90%) 「不安が少し解消した」と回答(90%)</p> <p>主な意見 ・子どもの同級生の親と知り合いになれた。とても心強く感じた。 ・PTA行事やPTAの仕事・役割がわかった。 ・子育てについて色々な取組をしていることがわかった。 ・緊張した学校だったのに、今日のサロンで友達ができた。</p> <p>アンケート結果が予想より好評であったため、企画運営した各小学校PTAは更に次年度の開催に向けた準備を行っている。</p> <p>継続的な家庭教育支援体制の構築 構成員の方から「これ以上の負担が増えるのが嫌。」「なんで他の学校のことまで？」と意見が出ましたが、各校PTAの時間でできること、みんなで集まってできること、を区別することによって負担感・やらされた感を感じず理解・活動ができた。 企画する構成員が楽しい活動となるよう心がけた。自分たちが企画したことが実現し思いどおりのイベントとなるようみんなでアイデアを出し合った。</p> <p>今後の取組 アンケートから「子育てに関する情報提供」や「親子で参加できる行事」について知りたいとの意見があったことから、今後、取組を検討していく。</p>
<p>⑤活動財源 (複数チェック可能)</p>	<p><input type="checkbox"/> 文部科学省補助事業(事業名:)</p> <p><input type="checkbox"/> 文部科学省委託事業(事業名:)</p> <p><input type="checkbox"/> 厚生労働省事業(事業名:)</p> <p><input type="checkbox"/> 地方公共団体単独事業として実施</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> 特段の予算措置はない(自主的に活動を実施)</p> <p><input type="checkbox"/> その他の支援により活動を実施</p> <p>()</p>